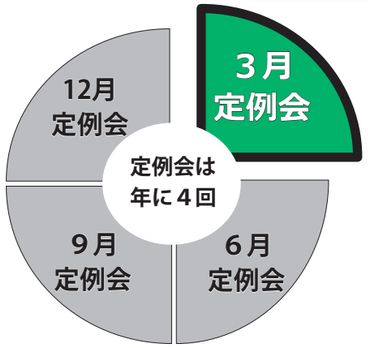
予算特別委員会

平成３０年度当初予算を可決

⬇ 今号は、３月定例会を中心にお届けします



平成３０年第１回定例会(３月定例会)は、３月２日から２２日までの会期で開かれました。

上田東一市長２期目の施政方針で論戦がスタート。

一般質問には１３人の議員が登壇し、市当局の見解をただしました。

市長提出議案は５５件で、それぞれ審議し、全て原案どおり可決しました。

また、平成３０年度当初予算（一般会計、特別会計など）について予算特別委員会を設置し、３日間にわたり集中審査を行いました。

一般会計総額476億円超 前年当初比2.2%増に！

平成30年度会計別の当初予算額（歳出）

会計名		歳出予算額（前年比%）
一般会計		４７６億３７１０万２０００円(2.2)
特別会計	国民健康保険	８６億７０８８万１０００円(△19.5)
	後期高齢者医療	２０億５８１８万４０００円(5.7)
	介護保険	１０５億９８４１万３０００円(0.6)
	公設地方卸売市場事業	８０１３万２０００円(18.7)
	汚水処理事業（※1）	３億２６８９万３０００円(△79.6)
	小計	２１７億３４５０万３０００円
合計		６９３億７１６０万５０００円(△3.0)

（※1）市が設置する浄化槽の維持管理および個人が設置する浄化槽への補助を行う。

平成３０年度 下水道事業会計

※平成30年度より農業集落排水事業分は、下水道事業会計に引き継がれました。

○収益的収支

【収入】36億9664万0000円
【支出】36億7139万1000円

○資本的収支

【収入】23億2064万0000円
【支出】36億7078万2000円

医療費助成 10月から 中高生まで拡充に！

～「みんなのお金」の使いみち～

平成30年花巻市議会第一回定例会は３月２日から22日までの日程で開催され、平成30年度一般会計や特別会計予算のほか、市内三辺地に係る整備計画や国民健康保険税条例の一部改正、災害公営住宅の新築工事請負契約の締結、教育長及び教育委員の任命に関し、同意を求めることについて審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

87%が義務的経費とその他経費

▽人口減少対策▽市街地の再生▽交流人口の拡大▽防災力の強化など、まちづくりの推進や市民生活の向上に充てられる一般会計予算の総額は４７６億３７１０万円（前年度比２・２％増）です。

５つの特別会計予算と下水道事業会計予算については、一覧表（右ページ）で示しています。

新年度予算案は特別委員会に付託して審査しました。審査の主な内容は下記に掲載しています。

なお、一般会計予算の歳出を性質別にみると、義務的経費（人件費82億９２３２万円、扶助費85億３７２８万円、公債費54億７５４２万円）は、予算全体の46・８％、投資的経費（普通建設事業費60億３４５５万円、災害復旧費２００万円）は、12・７％、その他の経費（物件費67億５７３５万円、補助費等60億９８４５万円、繰出金37億１１１３万円、その他28億２８６０万円）は、40・５％となっています。

市の借金である市債の30年度末の残高見込みは５６８億８８９０万３０００円ですが、後年度に地方交付税が措置される見込み額を除くと、実質的な市の将来負担額は１５３億６３１３万５０００円となり、本年２月末の人口で見ると、市民一人当たり15万８５８５円となります。

予算特別委員会 主な質疑と答弁

地域づくり交付金

Q 交付金額の一番多いところと少ないところは？また、配分割合の見直しは？

A 最も多い額は花北地区の１５１０万円。最も少ない額は大瀬川地区の４３９万円。

現時点で配分見直しは考えていないが、時機を見ての見直しもありうる。

地域おこし「集落支援員」

Q 地域おこしの新規事業「集落支援員」の活動内容は？

A 一定地域を担当して地域の実情を把握しながら地域課題のために活動するもの。

平成30年度はぶどう生産振興の支援を中心に、地域おこし協力隊と一緒に活動することを想定。

自主防災組織支援事業

Q 自主防災アドバイザーとは？また、防災士資格取得費助成の内容は？

A 自主防災アドバイザーは、消防経験者や先進的活動をしている自主防災組織の方など６名を想定している。

防災士資格取得費助成は、受験料など一人６万１０００円の経費10人分を予算化した。

中高生医療費助成事業

Q 10月からの医療費助成について、10、11月の支給はいつ？

A 償還払方式であることから、10月分については12月からとなる。

ごみ減量アドバイザー

Q ごみ減量アドバイザー設置に２５９万円とあるが内容は？

A 集積所でのごみ分別状況の調査と分別指導、さらには不適正排出に係る対応が主となる。